

公益財団法人山中漆器産業技術センター

～伝統的な漆芸技術を継承し、職人の多能工化を目指す～

支援

実施年度	平成30～令和4年度
事業名	人材育成・交流支援事業

工芸品	山中漆器（石川県）
指定の内容	https://kougeihin.jp/craft/0514/

産地の課題

職人の高齢化が進むが、若手の職人が育っていない。分業体制故に職人一人の技術範囲が狭いため、従事者の多能工化が課題。

合成塗料を使った廉価な商品需要が増える中、450年続く山中漆器の伝統技術を継承していくことが必要。

<法人概要>

設立：平成8年(研修所開設は平成9年)
基本金：3,000万円 職員：6名

石川県挽物轆轤技術研修所を運営し、山中漆器の原点である挽物轆轤技術者を育成するほか、製品開発や経営、伝統漆芸技術の研修や体験教室などの産地振興事業を実施。

= メッセージ =

全国で唯一「挽物轆轤技術」及び「漆芸技術」を専門的に学べる研修施設です。

ご関心がありましたらお気軽に、見学・体験（土日祝）にお越しください

<http://yamanaka696.org/>

補助事業の内容

髹漆、乾漆、蒔絵の3コースの研修を
週1回（1回あたり3時間程度）・年間で実施

受講者数(H30-R3)：延115名

補助対象経費：「講師謝金」
(補助率1/2)



- ①髹漆（きゅうしつ）コース：延39名が受講
- ②乾漆（かんしつ）コース：延36名が受講
- ③蒔絵（まきえ）コース：延40名が受講



受講生の成果発表会を2回開催（自主事業）

- ①漆芸教室作品展 R3.11.21・22
6種11点の展示、2日間で約500名が来場
- ②漆芸教室展 R4.3.15～R4.3.21
13種28点の展示、7日間で527人が来場

具体的なエピソード

～受講者のレベルに応じたカリキュラム～

工房で複数の弟子が学ぶのと同様の方法で、参加者の経験や能力に応じて、制作課題を設定します。

週1回・夜間開催で参加しやすく、1回毎に500円で受講できるので、各自のペースで進められます。

～受講生は高校生から若手職人まで～

主なターゲットは職能を広げる意欲を持つ職人、スキルアップを目指す若手職人。このほか、漆器産業就業希望者の確保を目的に、石川県挽物轆轤技術研修所、地元実業高校や美術系大学等からも募集しました。

4年目以降の参加者には、ヘラなどの低価格の道具は自分で購入して管理してもらい、積極的に独立を促しています。

～講師はどんな人？～

各工程の専門技術を持つ4名の山中漆器伝統工芸士（現役の職人）が講師を務めています（歴16年～27年）。技術を伝えたいとの強い情熱をもって携わってくれています。

～受講生の反応～

職人の受講生は、専門外の技術を習得することで仕事の幅が広がるほか専門分野にも応用できるなどの声が挙げられています。また、受講生同士の活発な意見交換、交流が生まれることで仕事への意欲向上にもつながっています。

一方、非職人の受講者が独立まで至るには課題が多く、経営スキルの向上や受け入れ先の確保が次の課題と考えています。



400年間 君を待っていた

令和5年度

研修生募集

石川県立山中漆器産業技術センター
石川県挽物轆轤技術研修所

〒922-0111 石川県加賀市山中温泉塚谷町イ270番 地

TEL (0761) 78-169 6 FAX (0761) 78-869 6

Mail ymnkssgc@po.incl.ne.jp

ホームページ <http://yamanaka696.org>

▶ 詳細パンフレット ▶ Facebook ▶ Instagram

